

I 平成24年度通常総会開く

活動実施方針、事業計画決まる

活動実施方針

【奈良県の歴史文化とそれを取り巻く自然環境の魅力を再発見し、奈良県の活性化に結びつく提案活動を行う。】

【奈良県の観光立県としての持続的な観光振興のための取り組みに積極的に協力する。】

平成24年度の理事会・通常総会を、6月9日(土)東大寺総合文化センター会議室において開催しました。

総会では、まず、平成23年度の事業報告と決算の承認をしました。つぎに、平成24年度の活動実施方針、事業計画および予算を決定しました。活動実施方針は前記のとおりで、事業計画は、前年度より継続して行っている「聖武天皇と光明皇后の衣装等復元製作の監修報告書作成」をはじめ、5つの事業を継続して行うこと、「神仏霊場巡り」支援は終了し、「奈良県内神社仏閣等



挨拶をされる 森本理事長



講演をされる 山口副理事長

歴史文化資源の顕彰」の新規事業を行うこと、合わせて6項目の事業を行うことを決定しました。

総会終了後、山口副理事長が「近鉄が目指すもの 奈良の地域文化とともに」と題して記念講演を行いました。

平成22年に創業100周年をむかえた近畿日本鉄道株式会社の発展の歴史、地元

に根ざす企業としての文化事業へ取り組み、企業経営者としての文化活動への心構え等について他社の例もまじえお話をいただきました。

平成24年度の事業計画

- ① 聖武天皇と光明皇后の衣装等復元製作の監修報告書作成
- ② 「万葉けまり」の保存
- ③ 「書の文化」の伝承
- ④ 「奈良の食文化」の伝承
- ⑤ 奈良県内神社仏閣等、歴史文化資源の顕彰
- ⑥ 「吉野川源流の水源地の森を守る活動」支援

II 平成24年上半期に実施した事業

1. 万葉けまりの保存事業

◎「平城京天平祭」に古代行事として万葉けまり出演

ゴールデンウィークの5月3日～5月6日の4日間、平城宮跡に於いて「平城京天平祭」が行われました。当フォーラムは4日（みどりの日）にメインステージである大極殿前庭において当時を偲ぶ古代の行事として「万葉けまり」を披露しました。

当日は、くもり空で少し風が舞う悪コンディションでしたが、特別参加の落語家「林家染太」師の軽快な話術による万葉けまりの紹介後、鞠子の皆さんは日ごろの成果を存分に発揮し、往時の都人の球技の一つけまりを披露しました。

披露のあと、見学されていた多くの子供さんが参加し、「けまり」を体感していただきました。



けまり風景



林家染太師

2. 奈良の食文化の伝承

◎「藤岡家住宅見学と五條の伝統食の試食」を開催

奈良県南部五條市にある藤岡家住宅の見学と、ひな祭りの時期に五條地区食される伝統食の試食会を行いました。

3月3日（土）36名の方が参加し、五條市宇智郷にある藤岡家住宅に集まりました。

まず藤岡家住宅を管理運営する NPO 法人うちの館の学芸員川村優理さんから藤岡家住宅の説明をいただきました。藤岡家は、江戸時代からの庄屋ですが、五條、吉野と大阪を結ぶ交通の要地にあり、両替商や薬種商などを営む商家でもありました。江戸時代の庄



川村学芸員からの説明を聞く会員

屋、商家の建築物として登録有形文化財の指定を受けています。また、明治時代、最後の当主となりました藤岡長和氏は、内務官僚として熊本県知事等を務めるかたわら、「玉骨」の雅号で俳人として活躍された方でした。藤岡玉骨と与謝野鉄幹、晶子夫妻や高浜虚子との親交の様子や、庄屋、商家の生活の様子などを見学いたしました。

その後、NPO 法人うちの館理事長の田中修司さん（田中さんは柿の葉すし本舗たなかの相談役）から、ご自身が考えられた藤岡家オリジナル料理「梅が枝点心」の説明をお聞きした後、奈良県マーケティング課の角山さんから、県認定の「ごっつおの達人」南口さんらの紹介いただきました。そして五條の伝統食として地元の食材を活用して、ごっつおの達人に作っていただいたお料理「ちらしすし」、「七色おあえ」、「刺身コンニャク」をいただきました。五條の伝統食、梅が枝点心、そして藤岡家オリジナルのつるし柿などをいただき、そのおいしさに皆大満足でした。



ごっつおの達人のお料理

食事会終了後、高取町へ移動し、土佐街道の「町家のひな巡り」を見学しました。

江戸時代のお雛さまから、創作雛人形、そしておよそ90軒の民家がそれぞれの家に保存されているひな飾りを軒先に飾られているのを見学できました。

天候の安定しない日々が続いた中で、当日は晴天に恵まれ、楽しい一日を過ごすことができました。

